（1）主題名　思りょの深さ　〔小学校高１－（１)〕
（2）ねらい　自分の生活を振り返り，節度を守り，けじめのある生活をしようとする態度を養う。
（3）資料名　「ついむちゅうになって」（出典：新しい道徳６　光文書院）

資料の概要
心待ちにしていた社会科見学に出かけた「ぼく」は，博物館で，佐藤君と一緒に興味を持っていた化石に夢中になった。そして，集合時刻に遅れてしまい，みんなに迷惑をかけてしまう。そのために，次の美術館見学を楽しみにしていた友だちの時間を奪い，非難を浴びる。「もっとゆっくり見たかったなあ。・・・というささやきが，僕の耳につきささった」という文末の言葉には，「ぼく」の反省がよく表現されている。

（4）学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と児童の心の動き	留　意　点
導入	1　時間について意識させる。	○目をつむって，１分間たったと思ったときに手を挙げましょう。 ・実際より早く（おそく）感じた ・一人一人の時間の感覚は違う	○ゲーム感覚でリラックスさせ，一人一人の時間に対する感覚の違いを知らせ，資料に入る。
展開	2　資料を読み，主人公の気持ちを話し合う。 3　ほかの人に迷惑をかけてしまったことを発表する。	○化石などを見ていたときの「ぼく」と佐藤君はどんな気持ちだったでしょう。 ・色々な化石があっておもしろい ・ゆっくり見てみたい ○待たされていた人たちはどんな気持ちだったでしょう。 ・待ち遠しい ・早く来ないと次の見学場所でゆっくりできない ◎不満の声を聞いた「ぼくたち」は，どのようなことを考えたと思いますか。 ・両親に言われたことを思い出した ・時間を守らないと人に迷惑をかけてしまう ○自分が約束を守らずに，人を待たせたことがありますか。 ・遊びの約束時刻に遅れた ・掃除開始時刻に遅れた ○どうして，そのようなことになったのでしょうか。 ・人のことを考えなかった ・このぐらいいいかと思った	○「ぼく」の気持ちの変化に注目させながら読ませる。 ○夢中になって，集合時刻を忘れている二人の様子をとらえさせる。 ○反省している主人公の気持ちに共感させる。 ○「時間を守る」こともけじめであることに気付かせたい。 ○そのときの心情について考えさせていくようにする。 ○その結果どうなったかをしっかり認識させる。
終末	4　学習のまとめをする。	○教師の体験談を聞き，今日の学習で思ったことを書いてみよう。（ワークシートに記入。） ・時間を守らないとみんなに迷惑をかけるので気を付けていきたい ・けじめをつけて，自分の生活をきちんとしていきたい。	○教師の体験談や「ぼく」の心情から，これからの生活のあり方について考えさせる。

実践報告にみる留意事項

１　資料・題材について

何事にもけじめを付けることができない人間は自らをだめにするばかりか，周囲の人々にも迷惑を及ぼすことになる。本資料は自由行動の時，友だちと一緒に，興味を持っていた化石に夢中になっているうちに，集合時刻に遅れてしまった「ぼく」が，両親の言葉や，友だちの非難の声から，反省していく姿が見られる内容である。主人公の気持ちを対比させることによって，けじめのある生活と勝手気ままな生活との違いを理解させることができる。

２　指導過程の工夫

導入では，ゲームを取り入れ，リラックスさせると同時に，一人一人の時間に対する感覚の違いを知らせるようにした。

展開では，物事に夢中になっている「ぼく」と，他の人に迷惑をかけたことに反省をしている「ぼく」の気持ちに視点を当てて考えさせるようにした。

さらに，自分の経験を出させることによって，その時の心情や結果を考えさせ，自分の行動を振り返らせるようにした。

終末では教師の体験談や「ぼく」の心情から，自分の生活を振り返り，ワークシートにまとめさせるようにしていった。

３　発問の工夫

夢中になって，集合時刻を忘れている二人の様子と，反省している主人公の気持ちを考えさせるとともに，待たされた人の気持ちにも焦点を当てて，いろいろな人の立場に気付かせるようにしていった。

主人公の「ぼく」と同じように，けじめがなかったために他の人に迷惑をかけてしまったことを考えさせることで，その行動の背景にも気付かせるようにした。

終末の教師の体験談で，待たされた立場の時は「こんなことを言われたから，すぐ許せたよ。」という内容を入れるとよい。

４　児童の反応

不満の声を聞いた「ぼくたち」の気持ちを考える場面では，「時間を気にしながら行動しなければならない。」「いくら好きだから夢中になるといっても，決められたことはきちんと行動しなければならない。」などの意見が出るなど，どのような行動をとるべきか，一人一人考えることができた。

修学旅行も近く，児童にとって，身近なこととして考えることができた。

５　授業後のフォローアップ

学校生活の中で，授業開始時刻や掃除時刻など，時刻を守ることについて日々の生活の中で意識をして行動できるようにしていくことが必要である。

修学旅行をひかえ，自由行動の過ごし方や集団生活の中でのけじめについて，心がけていくことに気付き，行動化できるようにしていきたい。

また，家庭生活の中でも，けじめのある生活が送れるよう，家庭教育との連携が必要であると考えられる。

（栗原北小学校）